



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 不二ラテックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5199 URL <https://www.fujilatex.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 研二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 金原 辰弥

TEL 03-3293-5686

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,425	14.1	22	95.6	27	94.3	25	92.7
2019年3月期第3四半期	6,317	6.9	515	5.3	479	14.2	350	14.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 31百万円 (90.2%) 2019年3月期第3四半期 325百万円 (9.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	20.15	
2019年3月期第3四半期	275.75	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,030	3,208	24.6
2019年3月期	13,567	3,240	23.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,208百万円 2019年3月期 3,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				50.00	50.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	12.4	61	90.0	42	92.0	30	92.5	23.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	1,286,199 株	2019年3月期	1,286,199 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	16,769 株	2019年3月期	16,533 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	1,269,516 株	2019年3月期3Q	1,269,681 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税前の駆け込み投資・消費の反動や世界的な景気減速などを受けて製造業を中心に軟調に推移しました。在庫調整の一巡や設備投資回復の兆しなどが伺えるものの、米中貿易摩擦の長期化や新型肺炎の拡大によるサプライチェーンへの影響など不安定な局面が今後も予想されます。

かかる状況は、中核事業である医療機器事業および精密機器事業の市場環境に影響し、当第3四半期連結累計期間の売上高は、54億2千5百万円と前年同四半期と比べ8億9千1百万円(△14.1%)の減少となりました。

利益面では、営業利益は2千2百万円と前年同四半期と比べ4億9千2百万円(△95.6%)の減益、経常利益は2千7百万円と前年同四半期と比べ4億5千2百万円(△94.3%)の減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2千5百万円と前年同四半期と比べ3億2千4百万円(△92.7%)の減益となりました。

各セグメントの業績は、次に示すとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益または営業損失に基づいております。

① 医療機器事業

主力のコンドームは、国内市場においては、商品の認知度向上を狙いWeb広告や販促企画を展開し、大型小売店や大手ネット販売を中心とした販路開拓に継続的に注力しました。消費の減少傾向、価格の二極化、新素材製品のシェア上昇により厳しい状況が続くものの、新素材コンドームSKYNの定番化、ネット販売の伸長により売上は拡大しました。また、海外市場においては、中国での需要後退に歯止めがかかってきました。

超音波診断装置等のプローブカバー(感染予防製品)、内視鏡用医療バルーンを中心としたメディカル製品については、アレルギーフリー新素材製品に対するニーズが底堅く、工場の段階的移転に伴う管理コスト増加を吸収し、回復基調に転じております。

この結果、売上高は、16億8千万円と前年同四半期と比べ4億2千2百万円(△20.1%)の減少となりました。

セグメント損益は、売上減少に加えて競争激化に伴う利鞘の縮小、栃木千塚工場の竣工に伴う償却負担増加もあり、1億2千9百万円の損失(前年同四半期は9千8百万円の利益)となりました。

② 精密機器事業

主力のショックアブソーバ及びロータリーダンパーは主要市場として位置付けている住宅設備、複合機等の各分野において堅調な受注が続いたものの、半導体・液晶関連等の産業用設備投資関連の受注は持続性に欠ける展開となりました。海外市場では一部取引先に対する出荷調整等の影響もあり、販売計画を下回りました。また製造原価に占める労務費や減価償却費の増加等が利益の圧迫要因となりました。

この結果、売上高は、33億2千3百万円と前年同四半期と比べ4億1千8百万円(△11.2%)の減少となりました。

セグメント利益は、5億3百万円と前年同四半期と比べ2億2千4百万円(△30.8%)の減益となりました。

③ SP事業

主力のゴム風船が主体となる販促用品市場は安定的な受注が見込めるものの、商材の逼迫や自然災害などによるイベントの中止、広告販促活動の縮小が影響し、販売計画を下回りました。この結果、売上高は2億9千9百万円と前年同四半期と比べ8千万円(△21.2%)の減少となりました。

セグメント損益は、4百万円の損失(前年同四半期は2千万円の利益)となりました。

④ その他

食容器の受注が引き続き順調に推移し、売上高は1億2千2百万円と前年同四半期と比べ2千9百万円(32.2%)の増加となりました。

セグメント利益は、1千9百万円と前年同四半期と比べ3百万円(△14.8%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、130億3千万円となり、前連結会計年度末と比べ5億3千6百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の3億8千7百万円、受取手形及び売掛金の1億2千8百万円の減少などです。

負債総額は98億2千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ5億4百万円減少しました。主な要因は、短期借入金の4億8千9百万円の増加はあるものの、電子記録債務の3億7百万円、長期借入金の3億2千万円、その他の流動負債の2億8千4百万円の減少などです。

純資産総額は32億8百万円となり、前連結会計年度末と比べ3千2百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の3千7百万円の減少などです。この結果、自己資本比率は24.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2019年11月7日公表の「2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,898,545	1,510,850
受取手形及び売掛金	1,922,573	1,794,432
電子記録債権	391,195	370,234
商品及び製品	575,922	654,435
仕掛品	792,658	860,380
原材料及び貯蔵品	748,116	715,449
その他	223,328	185,782
貸倒引当金	△847	△1,074
流動資産合計	6,551,491	6,090,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,883,503	2,873,481
土地	1,848,498	1,848,498
その他(純額)	1,685,455	1,603,825
有形固定資産合計	6,417,457	6,325,805
無形固定資産		
投資その他の資産	81,469	90,033
その他	511,608	520,695
貸倒引当金	△2,100	△2,100
投資その他の資産合計	509,508	518,595
固定資産合計	7,008,434	6,934,434
繰延資産	7,190	5,640
資産合計	13,567,117	13,030,566
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	289,359	273,962
電子記録債務	1,080,963	773,665
短期借入金	2,788,000	3,277,000
1年内返済予定の長期借入金	505,776	541,332
未払法人税等	29,801	756
賞与引当金	141,511	43,472
その他の引当金	—	22,244
その他	886,417	601,780
流動負債合計	5,721,829	5,534,213
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	3,244,184	2,923,185
退職給付に係る負債	131,159	102,627
その他	829,800	862,484
固定負債合計	4,605,143	4,288,296
負債合計	10,326,973	9,822,510

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	2,026,555	1,988,658
自己株式	△36,109	△36,609
株主資本合計	2,881,908	2,843,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,967	94,888
土地再評価差額金	278,760	278,760
為替換算調整勘定	6,065	687
退職給付に係る調整累計額	△16,558	△9,790
その他の包括利益累計額合計	358,234	364,545
純資産合計	3,240,143	3,208,056
負債純資産合計	13,567,117	13,030,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	6,317,406	5,425,425
売上原価	4,722,831	4,323,370
売上総利益	1,594,574	1,102,054
販売費及び一般管理費	1,079,571	1,079,224
営業利益	515,003	22,830
営業外収益		
受取利息	247	244
受取配当金	6,155	6,829
受取賃貸料	5,126	10,063
補助金収入	-	48,740
その他	10,577	11,444
営業外収益合計	22,106	77,322
営業外費用		
支払利息	40,525	58,909
賃貸費用	3,079	2,823
シンジケートローン手数料	11,717	6,355
為替差損	-	1,943
その他	1,804	2,587
営業外費用合計	57,127	72,618
経常利益	479,982	27,534
特別損失		
固定資産除却損	65	341
固定資産売却損	42	-
特別損失合計	107	341
税金等調整前四半期純利益	479,875	27,192
法人税、住民税及び事業税	81,423	3,963
法人税等調整額	48,333	1,621
法人税等還付税額	-	△3,977
法人税等合計	129,756	1,607
四半期純利益	350,118	25,585
親会社株主に帰属する四半期純利益	350,118	25,585

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	350,118	25,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,163	4,921
為替換算調整勘定	△4,001	△5,377
退職給付に係る調整額	6,389	6,767
その他の包括利益合計	△24,776	6,311
四半期包括利益	325,342	31,896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325,342	31,896
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,102,733	3,741,756	380,530	6,225,019	92,387	6,317,406	—	6,317,406
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,102,733	3,741,756	380,530	6,225,019	92,387	6,317,406	—	6,317,406
セグメント利益	98,052	728,017	20,764	846,833	23,453	870,287	△355,284	515,003

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△355,284千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、栃木千塚工場新設に伴う固定資産が増加したことにより、前連結会計年度の末日に比べてセグメント資産が、「医療機器事業」において1,498,189千円、「精密機器事業」において111,497千円、「その他」において232,073千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,680,042	3,323,224	299,986	5,303,253	122,172	5,425,425	—	5,425,425
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,680,042	3,323,224	299,986	5,303,253	122,172	5,425,425	—	5,425,425
セグメント利益 又は損失(△)	△129,780	503,741	△4,936	369,024	19,991	389,016	△366,186	22,830

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△366,186千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。